

国内実態調査報告書

テーマ : 企業における商品開発マネジメントの実態調査
ゼミ名 : 菅野 洋介 ゼミ
調査日 : 2024年9月10日(火)～9月12日(木)
調査先 : ヤマハ株式会社、スズキ株式会社
授業科目名 : 演習Ⅰ、演習Ⅲ
参加学生数 : 15名(3年生)、12名(4年生)

調査の趣旨(目的)

本実態調査の目的は、楽器・音響機器メーカーのヤマハ株式会社と自動車メーカーのスズキ株式会社を訪問し、それぞれの企業における商品開発がどのように行われているのか、その実態を理解することである。授業では、商品開発にかかわる理論や概念を学んできたが、今回の実態調査を通じて、それらの理論・概念と実際の商品開発の実践との関係を理解することを目指す。

調査結果

ヤマハ株式会社では、主に、楽器・音響機器にかかわる商品の展示を拝見させていただきながら、それぞれの商品がどのようなセグメントをターゲットとしており、どのような商品コンセプトで開発されているのか説明いただいた。これらのお話からは、楽器や音響機器という商品分野にとらわれず、音楽にかかわるさまざまな経験的価値を提供することに重点を置いて商品が開発されていることがうかがえた。また、創業時のオルガンの生産から、総合楽器、音響機器、家具、半導体、オートバイなどの多様な分野に多角化した経緯についても理解することができた。

スズキ株式会社では、開発担当の方よりご説明いただきながら歴史館の展示を見学し、スズキの創業からの歴史を学ぶとともに、自動車の一連の開発プロセスにおける個々の取り組みについて詳しく理解することができた。また、開発担当の方より、ジムニー、ハスラー、スイフトなど、代表車種の開発が具体的にどのような考え方や実践によって行われたのかご説明をいただき、自動車にかかわる商品開発マネジメントの実態を学ぶことができた。